2022年度児童発達支援　自己評価及び分析と改善

		チェック項目	本園 第二つばめ園 はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	0
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造された環境になっているか、また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか。	9	0	1
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	9	1	0
		分析	二部屋に分けて療育を実施するなど、環境設定を行い、構造化を図った。		
		改善方針	バリアフリー化に関して管理会社を通して改善していきたい。		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	1
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0
	7	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	10	0	0
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	1	0
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	0
		分析	全ての職員が外部研修を受けられる環境でない為、社内研修を実施し職員の資質向上を目指している。		
		改善方針	園内でのフィードバック研修を実施できるように検討する。		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を実施しているか	10	0	0
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0	0
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人及び以降支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その3えて、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	0
	13	自発支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合わせて児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0
	17	支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	1
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0
		分析	情報共有は図られている。個別支援と集団支援の役割を理解できるように検討する。		
		改善方針	アセスメントによる個別支援と集団支援の役割を理解する。		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	0
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども）を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	0
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども）を支援している場合）子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか	10	0	0
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校（幼稚部）との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	0	0
	26	移行支援として、保育園や認定こども園、幼稚園特別支援学校（幼稚部）等と間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	0
	27	他の児童発達支援センター や児童発達支援事業所、発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	0	0
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	6
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	0	0
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	1	0
		分析	コロナ渦の中、感染リスクがある為、外部との交流が出来ていない。		
		改善方針	以前は、同法人内の学童保育の児童とクリスマス会交流があったが、現在はコロナ感染防止の為、実施出来ていないので、zoomによるライブ療育を実施検討する。		
保護者への説明責任等	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明は行っているか	10	0	0
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	0
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	5
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0
	38	個人情報に十分注意しているか	10	0	0
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域いに開かれた事業運営を図っているか	6	1	3
		分析	コロナ渦の中、感染リスクがある為、保護者会を兼ねた交流が出来ていない。		
		改善方針	コロナの状況が好転してきている為、前向きに保護者会開催を検討していく。		
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	0	0
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	10	0	0
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	0
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	0
		分析	パート職員にも、避難訓練、ヒヤリハット報告等を書面として周知している。また、定期的な内部研修を実施して、共通理解やスキルアップ向上を図っている。		
		改善方針	情報共有を継続して実施		